

創立70周年記念事業

愛光学園 新校舎 完成

松山市の私立高高一貫名門校・愛光学園が、創立70周年記念事業として整備を進めていた新校舎建設プロジェクトが完了した。教員棟を中心に中学、高校の教室棟をそれぞれ円形に配置し、「無限の未来」を表現。同校舎のアイデンティティを深め、高いブランド力と誇りの源泉となる従来の学校建築の概念を超えた校舎を実現している。設計、施工はともに大成建設が手がけた。

和と無限の可能性をもたらす夢の新校舎

本学園は1953年、カトリック聖ドミニコ修道会のロザリオ管区によって創立されました。現在の校舎は、時間の経過とともに老朽化が進み、修繕を重ねて使用してきましたが、間もなく50年が経過しようとしており、建て替えの時期が到来しました。今後、愛光学園で学ぶ生徒たちに、現代に合う素晴らしい教育環境を与えたいと思い、創立70周年の記念事業として新校舎建設のプロジェクトを進めることとしました。

新校舎は、本部棟、教員棟、中学棟と高校棟に分かれた教室棟により構成されており、それぞれが円形となっています。教室、廊下はガラスを大きく使い、光を十分に取り入れ、見通しが良くなっています。中庭には芝生が敷き詰められ、周辺の公園と一体となって緑あふれる環境の中に校舎が配置されています。リング状の形状で、見通しが良い建物となっており、教師と生徒の距離も近く感じられることにより、従来にも増して学校内のコミュニケーションが育まれることが期待されます。

日本では、完璧なものは丸です。丸いものは輪を作って、和を保ちます。和敬、調和、親和、柔和、和楽、平和、和合、融和…。日本そのものも「和」と表現されます。そして二つの輪をつなげると「8」になります。8という形は永遠、無限(infinity)のものを表すシンボルです。シンボルと形は、目で見えない精神を表し作るものです。

和と無限の可能性をもたらす夢の新校舎で、次世代の若者を育てたいと思います。今後、新校舎の形にあわせて、生徒を育てる環境が変わると同時に、生徒の雰囲気も変わるでしょう。「輪」でつないで、「和」を重んじて、未来に向かって進んでいく所存です。

未来に広がる円形状のキャンパス



School Villageのエントランスゲート「本部棟」

設計コンセプト

大成建設株式会社 設計本部設計室長

井内 雅子



この地でしか実現できないオリジナリティーあふれる教育環境を創りたいと考えました。周りの豊かな環境を生かした設計にすることで、生徒や教員に親しまれる学舎を目指しました。分棟型校舎「School Village」は、本部棟、教室棟、教員棟などで構成されています。

■本部棟～School Villageのエントランスゲート～

学園の品格を表現すべく円すい状の門をイメージしたデザインとしました。2層吹き抜けの「Welcome Hall」は学園の伝統と歴史に触れ合う場所となっています。

■教室棟「School House」～緑に囲まれたわが家～

中学棟と高校棟に分かれ、さらに各学年が独立した配置となっている学びやはまるで自分たちの家で過ごすように感じられ、友達との連帯感も強くなると考えました。緑に包まれた教室は、省エネを考慮した最新設備を備え、自然と共存する快適な学習環境となっています。学年ごとに設けられた「Innovative Lounge」は、自学やランチなど、さまざまな用途に利用できます。

学校建築の概念を超えた学びや

■リング状の廊下～永遠につながるコミュニケーション～

リング状につながる廊下は光を十分に取り入れ、見通しを良くしました。突き当たりがなく、生徒、先生のコミュニケーションを生み出し、永遠につながるという思いが込められています。

■教員棟～School Villageを見渡す中心の棟～

School Villageの中心に、職員室などがある教員棟を設けました。生徒と教員の距離を縮めるために壁を全面的にガラス張りとし、外周部に斜め柱を配置することで内側の直径約30mを無柱化し、見通しの良い空間としました。

■「友情の広場」「学びの庭」～交流の輪を広げる二つの中庭～

教室棟には二つの中庭を設けています。シンボルツリーやステージなどがあり、この中庭を通して、学年を超えたコミュニケーションが育まれることを願っています。

このように、数々の「AIKO ORIGINAL」が盛り込まれた、今までにない、学校建築の概念を超えた建築を実現できたと思っています。

Table with project details: 工事概要 (Project Overview) including name, location, area, and dates.



理事長 ホアン・ベルモンテ



納まりを細部まで確認し高精度に施工
本工事は生徒が学園生活を送る同じ敷地内で行う工事であるため、搬出入専用の仮設スロープを設置し、生徒の動線と工事車両の動線を分けるなどして、安全面に十分に配慮することを願っています。



大成建設株式会社 作業所長 竹本 浩之

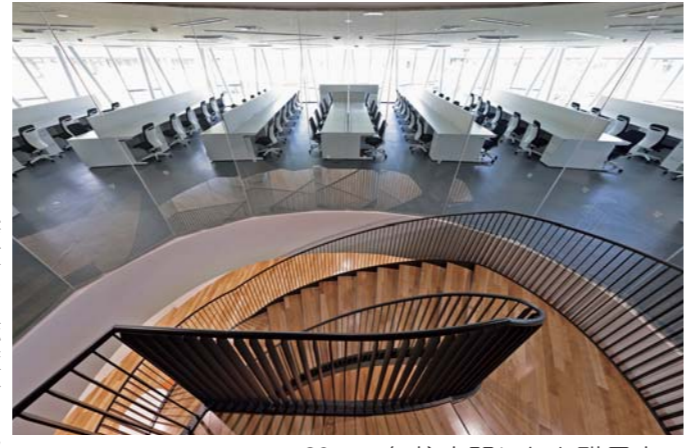
施工のポイント



本部棟「Welcome Hall」



緑に囲まれた教室



30mの無柱空間とした職員室



「School House」とリング状につながる廊下

設計・施工



大成建設株式会社

For a Lively World

四国支店

高松市サンポート2-1 電話 087-825-3400

Table listing various construction services and their providers, including measurement, crane work, concrete, steel, and plumbing services.